

## 新たなアジア・アフリカ戦略的パートナーシップ (NAASP)の再活性化に関する宣言(骨子)

- 共通の課題に対処するため、NAASPの下での協力を強化。
- 国連総会の活性化や包括的な安保理改革等を含む国連の改革を要請。安保理改革によりアジア、アフリカの代表性を大幅に増加。
- 域内貿易・投資を増加。緊密な人的交流を奨励。持続可能な経済成長を加速。

### <パートナーシップの前進>

- 緊密な南南協力、三角協力によって共通の課題を克服。様々な開発パートナーの関与を要請。
- 閣僚、事務レベルに対し、2009年の高級事務レベル会合で提案されたテロ対策、国際組織犯罪対策、食料安全保障、エネルギー安全保障、中小企業、観光、大学ネットワーク、ジェンダー平等、女性の地位向上の分野における行動を要請。
- NAASPの下でのパレスチナ支援を、2014~19年に延長。

### <将来の戦略的パートナーシップ>

- アジア・アフリカ諸国の、国連、特にPKOを通じた国際平和の維持のための貢献を評価し、PKOセンター間の協力を強化。
- 国際組織犯罪、テロに対処するための協力の重要性を強調。
- 世界知的所有権機関(WIPO)における伝統的知識や遺伝資源の保護のための合意に向けた議論を支持。
- 食料安全保障のため、共同研究・開発等、農業分野での協力強化の必要性を強調。
- 貧困削減のため、包摂性、持続可能性、強靱性を重視する「質の高い成長」の重要性を再確認。その実現のため、質の高いインフラ開発を目指し、PPPの促進、現地の人々の能力構築、気候変動や自然災害に対する強靱性を高めるための知見の共有を行う。
- 航行の自由・安全を確保し、海洋を基盤とした経済、海洋のインフラ開発のためのPPPの強化の重要性を強調。
- 地域間の貿易・投資を促進する政策の重要性を認識。
- 信頼でき手頃な価格のインフラ開発のための協力の強化、様々な分野における地域間の連結性の強化を表明。
- TICAD、中国アフリカ協力フォーラム(FOCAC)、インド・アフリカ協力等、既存のフォーラムを活用し、両地域を近づけることの重要性を強調。

- 5年間で10万人の研修、アジア・アフリカ協力センターの設置等の中国のイニシアティブを歓迎。5年間で35万人の人材育成との日本の発表を歓迎。毎年約1.5万人の研修等のインドの関与を歓迎。
- 国連気候変動枠組条約の下で、すべての国が参加する議定書、法的文書または法的効力のある合意された成果を2015年のCOP21で採択するため、交渉を継続する決意を再確認。
- 民主的体制、グッドガバナンス、法の支配、透明性・説明責任、人権、腐敗対策を強化する必要性を認識し、協力を強化。
- 感染症、特にエボラ出血熱に対する連帯と協力を強化し、早期警戒、備え、強靱な保健システム、人材育成、国際協調等の重要性を強調。
- 以下によって、NAASPの活性化を図る。
  - ✓ アジア・アフリカ首脳会議を10年毎に開催。
  - ✓ NAASPの共同議長を4年毎に持ち回り。
  - ✓ 国連総会の機会に閣僚会合を2年毎に開催。
  - ✓ 共同議長間で年次協議を行う。
  - ✓ 人的交流の強化のため、アジア・アフリカ・アカデミック・フォーラムの設置等の大学間交流、シンクタンク・ネットワーク構築等が有益。
- 次回首脳会議において、本宣言の履行を総括する。

(了)